

DUNLOP Paramo Dream Cup ENTRY GUIDE BOOK 2018



JAF JAF 公認
パラモドリームカップ 2018
稲葉侑記念
ハンディキャップドライバー日本一決定戦 Next

PARAMO JAPAN
BRAND NEW MOTOR SPORTS

主催：日本障害者モータースポーツ協会・日本身体障害者支援機構
運営：JAF加盟クラブパラモモータースポーツクラブ
格式：JAF公認単国内格式によるスピード行事

AKT/O DUNLOP この道の先に NIPPO MOTOR SPORT JAPAN
ユニバケ FUJICON Guidosimplex
あたりまえの「安全」をすべての方に
ENDLESS The will to WIN. 神奈川トヨタ SurLuster 公益社団法人 日本理学療法士協会 Japanese Physical Therapy Association

はじめに

2007年から10年間に渡って行ってまいりました、日本一速い身障ドライバーを決定する「ハンディキャップドライバー日本一決定戦」が、今年2018年からJAF公認競技会として、また名称も「パラモドリームカップ」と改名し、新たなスタートを切ることになりました。

JAF公認競技会とは、モータースポーツの頂点であるF1やWRCなどと同じのルール体系の基で行う公式競技です。JAFの公認競技会はFIAが統括していますが、FIAはサッカーでいえばFIFAと同じ世界的な競技組織です。これまでの決定戦と何が違うのか？それは、これまでは優勝者の栄誉は、私個人が与えたものですが、今年から優勝者、出場者の栄誉はFIAとJAFが皆さんに与えます。これは大きな違いです。

さて、この大会を実施する目的は2点あります。1点は身障ドライバーの運転技術を競うこと。もう1点は身体障害があっても、安全に自在に車を操ることができることを社会に発信することで、身障者の自動車運転を推進する目的です。2点目は通常のモータースポーツには無い、この大会独特の社会的意義といえます。単なる趣味や道楽を超えたところに、この大会の存在意義があります。だから、大会に出場するすべての方に栄誉が与えられるのです。

挨拶が長くなりましたが、初めてJAF戦に参加する方も多いと思いますので、簡単にまとめたエントリーガイドを用意させていただきましたので、よく読んでいただいて、安全

で楽しい大会にできればと思っています。初めてのJAF戦参加で緊張するかもしれませんが安心してください。主催者だって初めての経験なのです。

それでは9.30筑波でお会いできますことを、心から楽しみにお待ちしております。

JAF加盟クラブ パラモモーターズスポーツクラブ

会長 佐藤 正樹



本大会に参加するために必要な参加資格。

世界のモータースポーツを統括するFIAは、「国際モータースポーツ競技規則付則L項、ドライバーの身体検査に関する規則」の第1条1,5aに参加資格についての以下の規定を設けており、本大会もFIA規則に則った運営を行います。

1,5a 「日常行動に影響がある癲癇。または治療中の癲癇。（参加資格を認めないケース）

また、同条1,5bには医師の診断書の提出が必要となる疾患について記述があります。

1,5b ②インシュリン治療を必要とする糖尿病

③心筋梗塞、心筋の虚血、その他心臓血管の異常状態。

④精神疾患。

また、当会では以下の疾患について、FIA基準とは別途に医師の診断書の提出を求めています。

①認知機能の低下の症状を伴う疾患や障害。

②運転禁止対象となる医薬品を服用している方。

モータースポーツでの事故は、ドライバー本人の生命だけでなく、他のドライバーの生命、観客の生命に対しても危険を与えかねません。すべての関係者の安全を第1に、本大会の参加資格は厳守して下さい。

参加資格 以下の要件を満たすことが参加の条件です。
A, 肢体不自由が理由の身体障害者手帳を受給している。
B, 正規な免許手続きが完了している。(臨時適性検査他)
C, サーキットを走行するのに適切な身体能力を有していると自認している。

要件を満たしている

要件を満たしていない

その他の手帳も持っている

持っているライセンスの種類

出場できません。

個別にご相談ください。

JAF国内B級以上

レーシング会員

何も持っていない

出場できるカテゴリー

出場できるカテゴリー

レーシングの会員取得

どちらでもOK

JAFクラス

クローズドクラス

出場できるクラス

出場できるクラス

BD1

BD2

BD3

BD4

BD1

BD2

BD3

BD4

次ページの排気量クラスを参考にして、出場クラスを選びます。

BD1

1600cc以下の前輪駆動車。
1122cc以下の前輪駆動車、後輪駆動車、4輪駆動車
ナンバーの有無は問わない。

BD2

1601cc以上の前輪駆動車
ナンバーの有無は問わない。

BD3

BD1クラス以外の後輪駆動クラス
ナンバーの有無は問わない。

BD4

BD1クラス以外の4輪駆動車
ナンバーの有無は問わない。

BDクラスの[B]とは、JAF国内競技車両規則の「スピードB車両」を指しています。(ナンバー付きの保安基準適合車両)
BDクラスの[D]とは、JAF国内競技車両規則の「スピードD車両」を指しています。(車検に通らない車両)

全車共通のルール

- ◆ FIA使用期限の厳守 シートベルトや座席ヘルメット、レーシングスーツ等の装備品の使用期限は厳守してください。
- ◆ 使用可能なタイヤ銘柄に制限があります。
- ◆ 車検に適合しない車両の場合はD車両ルールが適用されます。登録ナンバーは取り付けままで構いませんが、カバー等で覆ってください。また、自走での来場は禁止です。

B車両の改造規定

- ◆ 車両の部品を変更また交換したり、いかなる部品を装着し使用する場合にも、車両使用者の責任において道路運送車両の保安基準に適合させた状態とし、常に適合するよういじらなければならない。

D車両の改造規定

- ◆ 対象車両は、フォーミュラ等やN1,N2等のJAF規定のレース専用車両。または、保安基準外の一般車両で、JAFレース車両規定第1編、第3章、第4章に適合している車両。
- ◆ 6点式ロールバー、4点式以上のハーネス、サーキットブレーカー、触媒の使用が義務付けられます。詳細はJAFD車両規定をご参照ください。

JAFクラス、クローズドクラス共に、車両規則は共通です。

- 車の準備

筑波サーキットコース1000は全長1キロのミニコースですが、車両への負担は大きく、ブレーキ性能やエンジン冷却性能に影響を与えます。最低限必要な準備は以下の通りです。

- ①エンジンオイル、ミッションオイル、ブレーキフルードの交換（サーキット走行にふさわしいグレードのもの）
- ②車室内の不要物の撤去。（完全に固定されていないものはすべて取り外します）
- ③タイヤの点検。（サーキット走行にふさわしいグレードのタイヤへの交換。傷、残り溝、空気圧の確認）
- ④必要な装備品の確認。（シートベルト、けん引フック）

- ドライバーの準備

安全にサーキットを走るために必要なドライバーの準備です。

- ①体調管理（体調不良の方は出場できません）
- ②装備品の確認（ヘルメット、グローブ、スーツなどのFIA使用期限の確認。汚れや破れなどの確認）
- ③緊急時の車外脱出の確認（コース停止時の車外脱出はドライバーの自己責任です）
- ④ルールの理解（当日のスケジュールやルールを確認して、当日慌てることの無いよう準備します）

競技の方法

・ 決勝の走行手順

決勝は1台ずつ単独で走ります。2ヒート走行し速いタイムのヒートが記録になります。この記録タイムに「フィジカルハンデ」を加算し、正式な記録タイムになります。

- ① スタート地点はピットロード出口です。スタート要員の指示でコースイン。まずはそのまま1周して、タイヤを温めましょう。
- ② 1周したらそのままホームストレートを通過してタイムアタック開始です。
- ③ タイムアタックは2周して、その合計タイムが走行タイムです。
- ④ 計時ラップを2周したらゴール。ゴールラインはホームストレートチェッカー旗を振る地点です。

チェッカーを受けたら、コース外周をぐるっと一回りして、ピット入り口からピットへ戻ります。

*コース内にパイロンが数か所あります。これに接触するとタイムペナルティが加算されてしまいます。

*ミスコースをすると失格ですので注意しましょう。

*ピットレーンを含むコース内ではバックギヤは使えません。

タイムアタックは2回あります。最初のアタックはきっちり走って記録を残すことが大事です。

競技の方法

・ 決勝の手順

- ①ゲートオープン（会場の入場ゲートが開く時間です。なるべく早く来て、慌てずに準備することをお勧めします）
- ②参加受付（会場に到着したら、参加受理書、必要なライセンスを持参して、受付場所で受付を行います）
（この受付に間に合わなかった場合、大会に参加することはできません）
- ③車検（車両の安全、ドライバーの装備品を確認します。この車検に合格しないとその後の走行に参加できません）
- ④ドライバーズブリーフィング（走行の手順や旗信号などの説明です）
（参加しなかったドライバーは走行することができません）
- ⑤練習走行（練習走行時も、規定に従った車両、装備品で走ります）
（必ずしも走ることは義務ではありません）
- ⑥競技走行（本番は1台ずつ単独で走ります。2本走って、速いほうのタイムがドライバーの記録タイムです）
- ⑦再車検（車両がJAF規定他のルールに合致しているか確認するために車両を別の場所で保管し検査します）
（この検査で違反が発覚すると、失格ほかのペナルティが課せられます）
- ⑧表彰式（出場者全員が出席します）

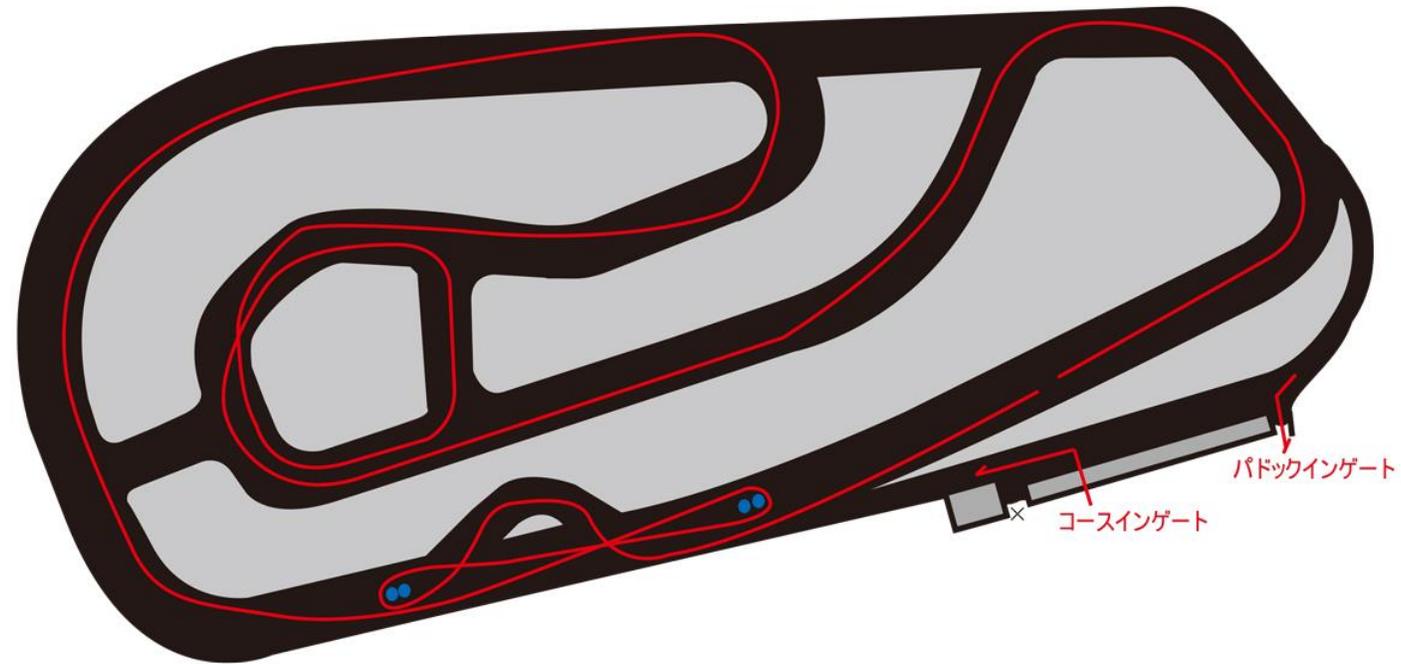
決勝コース図 計時1周目

ピットレーンからスタートし、暖機ラップ1周が終わったら、いよいよ計時ラップ1周目です。以下の図のコースを走ります。1周目は少々テクニカルなレイアウトです。慌てずに落ち着いてミスコースをしないように注意します。

DUNLOP パラモドリームカップ2018 ハンディキャップドライバー日本一決定戦Next コース図(案)

2018年7月1日

1周目



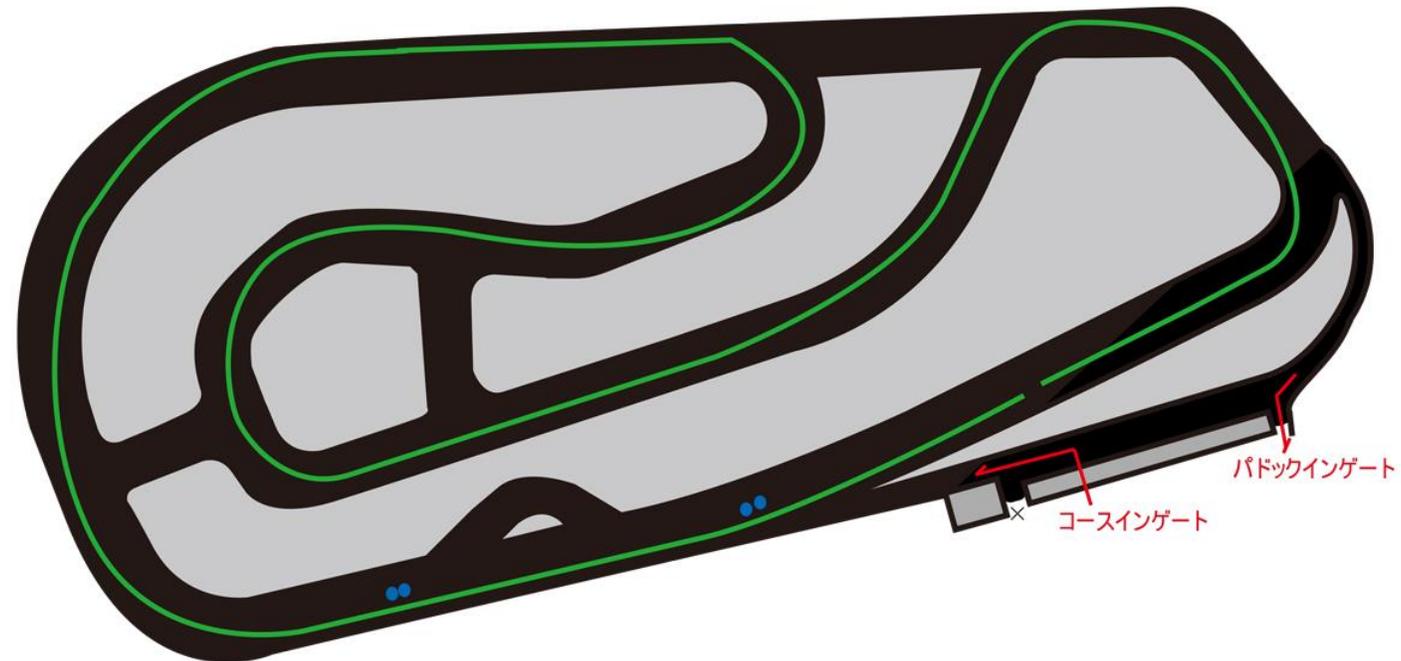
決勝コース図 計時2周目

2周目は、いわゆる筑波1000のプロパーなコースです。この周回で計測は終了。ゴール後は、コースの最外側（外周）を回ってピットへ戻ります。

DUNLOP パラモドリームカップ2018 ハンディキャップドライバー日本一決定戦Next コース図(案)

2018年7月1日

2周目



終わりに

今年の決定戦は、初のJAF公式戦となりますので、JAF戦初参加の方でも安心して参加することができるよう、このガイドブックを作ってみました。

一般のドライバーがサーキットを走るには大きな勇気と挑戦する気持ちが必要です。そして、さらに大会出場となると、その気持ちはさらに強くなければ、一步を踏み出せません。また、気持ちだけでは参加できないのも、悲しいかな、モータースポーツの特徴です。さらに、身障者の場合、体の状態などによっては、やりたくてもできない人はたくさんいることでしょう。

しかし、このガイドブックを見た方の多くは、出場のチャンスに恵まれた人たちだと想像します。

やる気とやるチャンスに恵まれたみなさん、

ぜひその可能性を現実のものとして生かしてください。今なら生かす場所がここにあります。

そして、その姿を多くの人たちに見せてあげてください。

さあ、準備を始めるのは「今」しかありません。

9. 30筑波で、皆さんとお会いできることを、主催者を代表して、心から楽しみにしています。